


ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

～ 先月のネイチャーウォーク ～

(今度こそ) 美しき冬鳥たち in 多々良沼

(東武小泉線成島駅～同伊勢崎線多々良駅)



2009年最初のネイチャーウォークは、2005年に悪天候のために中止となったコースを使いまわして楽しみたいぜひとみなさんに歩いてもらいたい! ということで再び多々良沼を歩きます。

しかし天気予報では晴れだと言っていたのに、駅についてみればどんよりとした曇り空。最初のコース説明の時からぽつぽつと雨も降

るじゃないですか。カカア天下・カミナリとならぶ群馬名物、赤城おろしが弱めなのが幸いですが、これはどうなるかと不安、だったのですが...

最寄り駅から10分もたたないうちに、そんな不安はあっという間にかき消されました。

参加者A：あそこ、キジが草はらに逃げこんだ!

参加者B：セグロセキレイがキセキレイと喧嘩してる!

参加者C：あ、今度はモズ!

某スタッフ：シメだぁ! しめしめ。



多々良沼につかないうちから足を止め、いたのいないのと大さわぎ。まさに最初からクライマックス状態でした。



多々良沼南東部には保安林が帯状に続いているのですが、ここは地元の散策路として親しまれていて、当日も散歩を楽しんでいる人がいました。

もっと楽しんでもらおうと、あちこちに著名な芸術家作のブロンズ像を設置して「館林市彫刻の小径」を整備しているそうです。

いやー、ほんと、ゲージツってむずかしいですね。

保安林を抜けて多々良沼にアクセス。くもり空はあいかわらずでしたが、さっそくどんな冬鳥がいるかをみんなでチェック！ 岸边にはカルガモ、ちょっと奥にはマガモ、ヒドリガモ、コガモ、カワウ、そして深そうな沼の真ん中あたりには...あ、いました、ミコアイサ！！



とても撮影できない距離でしたが、ミコアイサはオスメスあわせて 20 羽近くを観察することができました。パンダのように白黒な羽根がきれいでしたよ～。

30 人以上の参加者があっちこっちを双眼鏡でのぞくと、道中の畑にはびよんこびよんこ跳ねまわるツグミが、沼ぞいの林にはアカゲラの姿が、「ヒッヒッ」と鳴く方向に目をやればジョウビタキが私たちのまわりを飛んでいました。

はるか遠くの小鳥の姿も見つけてしまう参加者もいて、沼が見えなくても気が抜けません。



昼食場近くの弁天島から一枚。コハクチョウが干上がった沼でお食事中でした。美しき冬鳥といえば誰もがハクチョウを思い浮かべますが、あの黒い足が見るとなんだかオッチャン長靴をはいているようですね。

いや、これはこれで愛嬌たっぷりですりちーですよ？



コハクチョウの鳴き声が間近で聞こえる公園で昼食。午後になると気温もやや上がり、風も吹いていないこともあって比較的良好なコンディションになってきました。

昼食後はすっかりおなじみの Walk 歩こう認定証の授与。今回は 3 人の方がキリ番達成です。おめでとうございます！ そしてこれからもネイチャーウォークを末永くご愛好ください。



午後はカワセミが顔を出し、ノスリが木の枝に止まってじっとエサが出てくるのを待ち構えていました。ミヤマガラスはまとまっては出てこなくて残念だったけど、沼の観察小屋前で鳥合わせをしてみれば 44 種+コブハクチョウ、帰りに新たにイソシギが出てきてみんなであわせて 45 種も見ることができました。



全行程約 9 キロを、たっぷり 4 時間近くかけて歩きました。今年のネイチャーウォークは、どんな面白いコースが待っているのでしょうか？

ご期待ください。



おつかれさまでした。